

電気自動車:「コムス」で業務 但馬信金、豊岡市から2台借り受け /兵庫

毎日新聞 2015年09月15日 地方版

但馬信用金庫(本店・豊岡市)が豊岡市から電気自動車「コムス」2台を借り受け、14日から業務で使い始めた。

二酸化炭素(CO₂)排出削減を掲げる「ひょうごスマートムーブ推進コンソーシアム」が、神戸トヨペットからこの2台の無償貸与を受け、豊岡市に管理を委託した。少なくとも10月下旬までは但馬信金で使うという。県内では他に加東市にも2台貸し出されている。

コンソーシアムでは環境省の補助を受け、「超小型モビリティ型ノーマイカーデー活動」を推進している。この活動はCO₂削減のほか、エネルギー料金削減のモデルケースにするのが目的。

14日は、豊岡市中央町の但馬信金本店から出発した。コムスは1人乗りで、最高時速60キロ、フル充電で約50キロ走行可能。充電1回の電気代は約151円という。2台とも集金、コンサルティング業務などの渉外業務に使われる。

但馬信金本店営業部の近藤俊介主任(32)は「運転したら、かなり注目された。4輪にしては狭い道も通れるし、雨の日にも便利」と話していた。【柴崎達矢】

〔但馬版〕



但馬信用金庫で使用が始まった電気自動車=兵庫県豊岡市内で、柴崎達矢撮影